



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校 校長室だより
R1.7.12 No. 37



○ 5・6年生 ブックトーク

7月11日(木)・12日(金)に、南条図書館の司書さんに来ていただき、ブックトークを行いました。夏休み読書感想文の課題図書とおすすめの本を紹介してくださいました。みんな興味をもって、集中して聴いていました。司書さんの上手な話を聞いて、どの本も読んでみたくなりました。



<夏休み課題図書(高学年)>

『ぼくとニケ』 文:片川 優子 出版社:講談社

ある日、子猫がやってきた。5年生で突然登校拒否になった幼なじみの仁菜が、薄汚れた子猫を拾い、ぼくの家へ連れてきた。自分の家で飼えない仁菜にかわって、ぼくと家族がお世話をすることになったのだけれど…。子猫とぼくの大切な話。



『かべのむこうになにがある?』

文:ブリッタ・テッケントラップ 訳:風木 一人 出版社:BL出版
大きな赤いかべがありました。いつからなのかどうしてなのかだれも知りませんでした。小さいねずみは思いました。「かべのむこうになにがあるんだろう?」ねずみはかべのむこうが知りたくて鳥にたずねると…。



『マンザナの風にのせて』

文:ロイス・セパバーン 訳:若林 千鶴 絵:ひだか のり子
出版社:文研出版
日系アメリカ人のマナミは、ワシントン州ベインブリッジ島で、家族と幸せに暮らしていた。いつものように学校へ通い、友達と遊ぶ日々は、ある日突然変わってしまう。家族で「強制立ち退き」しなければならなくなったのだ。



『もうひとつの屋久島から:世界遺産の森が伝えたいこと』

文:武田 剛 出版社:フレーベル館
1993年、日本で初めて世界遺産に登録された屋久島。この自然豊かな島のいたる所で、その11年前まで広大な原生林が伐採されていた事実があった。屋久島の過去・現在・未来にせまる、渾身のドキュメンタリー。

<おすすめの図書(高学年)>



『ゆかいな床井くん』 文:戸森 しるこ 出版社:講談社

こんなクラスメイトがほしいなあ。となりの席の床井くんは、ユーモアがあって、考えかたのセンスがよくて、ちょっと変わっている。

暦(こよみ)ちゃん、こよみん、ミケ、こよちゃん、暦、三ヶ田さん。三ヶ田暦(こよみ)は、クラスメイトたちからいろんな名前と呼ばれる。ミケというナイスなあだ名をつけてくれたのは、床井くん。暦は、ユーモアあふれる床井くんから目が離せなくなる

『ぼくらの一歩 30人31脚』 文:いとう みく 出版社:アリス館

「50メートル向こうで、ぜって一笑おう」

「救世主」になってしまった転校生 水口萌花、なんでもそつなくこなす優等生 中谷琴海、クラスの中心的存在 蒼井克哉の3人の小学6年生。彼らがクラスで挑むのは、“30人31脚”。足が速い子、遅い子。どうしても走りたい子、走れない子。それぞれが異なる思いを抱えて、一緒に前を向く。目指すのは、8秒台。一度も出したことのない、とんでもないタイム。



『ロード〜キャンピングカーは北へ〜』

文:山口 理 出版社:文研出版

たよりないうちの父ちゃん。ある日、ついに大事件が起こる。父ちゃんが会社をクビになってしまった。でも、次に起こったのはもっと大事件だった。なんと父ちゃん、家族にだまってキャンピングカーを買ってきた。まだ再就職先も決まってないのに…。どうするんだよ、父ちゃん! どうなるんだよ、おれの家族は!!



○ 児童生徒競書大会

推薦(3点)や特選(27点)に選ばれた児童の作品が中ホールに展示されています。

保護者会(17日)の時にぜひご覧ください。

